

1. 会 合	国債の決済期間の短縮化に関する検討ワーキング・グループ（第 44 回）（書面） （議事要旨）
2. 日 時	平成 28 年 4 月 25 日（月）
3. 議 案	（審議事項） 1. 銘柄後決めレポ取引の銘柄割当てにおける利払銘柄の取扱いについて （報告事項） 2. 「債券等の現先取引に関する基本契約書」参考様式の改定案について 3. 「担保後決め方式GCレポ取引手法検討会」、「担保管理インフラ検討会」 及び「総合運転試験に関する検討会」等の開催状況について
4. 主な内容	（審議事項） 1. 銘柄後決めレポ取引の銘柄割当てにおける利払銘柄の取扱いについて 利払銘柄については銘柄後決めレポ取引の銘柄割当ての対象外と整理していたが、昨年 12 月 17 日に開催の第 43 回WGにおいて、「利払銘柄を担保としたターム物取引について利払期日の前営業日に銘柄入替が発生するため、銘柄後決めレポ取引の利便性が損なわれる」旨の意見が寄せられたことから、担保後決め方式GCレポ取引手法検討会（以下「フロント検討会」という。）及び担保管理インフラ検討会（以下「バック検討会」という。）において、改めて、利払銘柄を銘柄割当ての対象とする場合に想定される対応案等について検討が行われた。その検討結果を踏まえ、資料 1 のとおり、「T + 1 化の実施時点では、1 回目の銘柄割当てにおいて利払銘柄を対象とすること等を対応方針と整理することにつき審議を行った結果、原案どおり了承された。 （報告事項） 2. 「債券等の現先取引に関する基本契約書」参考様式の改定案について 銘柄後決めレポ取引に対応した契約書の参考様式等については、「リーガル検討タスクフォース」において検討を行ってきた。今般、同タスクフォースにおいて、これまでの検討を踏まえた当該参考様式の改定案が資料 2 のと

	<p>おり作成されたので、報告を行った。</p> <p>なお、同改定案については、今後、「債券等の条件付売買取引の取扱いに関する規則」を所管する自主規制部門において、同規則及び銘柄後決めレポ取引に対応した契約書の参考様式の改正等に係る検討を行う際の参考に供する旨、併せて報告を行った。</p> <p>3. 「担保後決め方式GCレポ取引手法検討会」、「担保管理インフラ検討会」及び「総合運転試験に関する検討会」等の開催状況について</p> <p>前回WG以降に開催したフロント検討会、バック検討会及び「総合運転試験に関する検討会」等の開催状況を、資料3のとおり報告を行った。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>
5. その他	※本議事要旨は暫定版であり、今後、内容が一部変更される可能性があります。
6. 本件に関する問い合わせ先	企画部 (Tel : 03-3667-8535)